

令和2年度

南区幼保小連携推進協議会便り

第1号 令和2年10月20日 発行

南区幼保小連携推進協議会代表者

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対策として、2回の南区幼保小連携推進協議会が中止となり、互いの園や校種を超えた交流・研修等の機会がもちにくい状況が続いています。そのような中、第2回南区幼保小連携推進協議会でお話いただく予定であった藤女子大学教授の大室道夫氏を代表者会にお招きし、『どうする！ 幼保小連携』というテーマで研修を行いました。また、後半は、各校園種の取組や今後の幼保小連携の在り方と具体的な取組についてなどを協議しました。その内容についてお知らせいたします。

Ⅰ 『どうする！ 幼保小連携』 講師 藤女子大学 教授 大室道夫氏

◎幼児教育から見た幼保小連携

- ・『幼稚園教育要領解説』と『保育所保育指針解説』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』の小学校教育との接続に当たっての留意事項の内容は、ほぼ同じ。
- ・生活科は、平成元年の学習指導要領の改訂で誕生した。幼児教育と同じように資質・能力3つの柱の内容に「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」の「～の基礎」という言葉が使われているのは、生活科だけ。
- ・小学校教育はゼロからのスタートじゃない！ ～幼児教育はすごく大事であるし～
- ・今年度全面実施された小学校学習指導要領の「総則」に『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』、育まれた『資質・能力』を踏まえた教育活動を実施するよう幼児教育との接続について記述された。



◎スタートカリキュラムの現状と課題

- ・2年前（移行期間）に行ったアンケート調査では、作成していない学校が過半数を占めていたが、今年度の4月から完全実施になっている。活用できるスタートカリキュラムを作成しよう！

◎『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』の具体

☆シーン3 『コマに夢中!』だいきの VTR 視聴から



【VTR の内容】『園長先生の前で5回連続コマが回せたら、名前入りのコマがもらえる』それにチャレンジする「だいき」。なかなか思うように回せない。練習では5回連続できるようになるが、本番では何度回しても失敗・・・あきらめず取り組み続け、2週間後に再挑戦。周りの仲間も応援し、5回連続回すことに成功。仲間も大喜び!

☆上記の VTR 視聴後に『幼児期の終わりまでに育ってほしい(10 の)姿』がどのような姿の中で見られるのかについて、意見交流を行った。

・校種により、VTRの子どもの姿を見ても受け止め方が違い、交流することが大切である。概して、小学校では、分析的に見ていて、幼稚園・保育所等は、総合的に育つ姿を捉えている傾向にある。ただ、遊びの様子から「自立心」「協同性」などの面ではどう育っているのかなど分析的に捉えることも育ちの評価や相手に伝える際には必要になる。同じ場面を見ながら、その姿をどう捉えるのかを話し合うことで、多角的に子どもを理解することにもつながる。今後の協議会でもやってみたい研修の一つである。

2 新型コロナウイルス感染症対策の中の各校・園でのこれまでの取組について

【子どもの姿や実態から】

- ・不登校の子どもが増えた。小学1年生は、再開時に、きょんとしていた。
- ・休園中の家庭での過ごし方により、園が再開したときの幼児の様子が違う。
9月になっても登園に不安を抱えている幼児もいた。
- ・生活のリズムが乱れ、夜中までゲームをする児童もいた。
- ・子ども同士の関わりができない、先生方の名前と顔がつかない。
- ・保護者の自粛が解けて仕事に行くことが、子どもにとっても気持ちを切り替えやすい。

【園や学校での遊びや学習について】

- ・コロナ禍で学校にいけない児童用に、札幌市では課題を出した。学校に行ける児童は、授業を受ける。行けない児童は課題。保護者が感染を心配し、「行かせない」というのは、不登校とは違う。
- ・プール遊びをやめ、洗濯遊びなどに切り替えたところ、「幼稚園はやっているのに、保育園は厳しいですね」と言われた。

【その他】

- ・参観懇談～9月によく教師と保護者が話せた。
- ・保護者の要望によりアンケート(大変だったこと、これからの対策など)を実施したところ、
『兄弟の小学生の課題を見るのが大変だった』
『幼稚園と保育園の行政の対応の差は、どうして違うの?』などの声が多かった。
- ・消毒対策が大変。いくらやっても終わりが無い。精神的な疲弊(職員)

3 今後の幼保小連携の在り方と具体的な取組について

【他校種や地域の方との交流】

- ・他校種との交流や地域との交流が途絶えた。これからどうしていくか？
- ・隣接の小学校と30年来の幼児と児童の交流が続いており、何とかやりたいという双方の思いで、4年生と年長組の交流を実施。手遊び・鬼ごっこなどを、体育館で密を避けながら、消毒・換気、小学生はマスク着用などの感染防止対策をして行った。
- ・感染防止対策を話し合いながら、近隣の児童会館や高等支援学校と交流を再開した。
- ・子ども同士の交流は難しくても、互いの授業、保育を見合うなど教師同士の交流はできる。
(検温、マスク着用、消毒の徹底)

【今後の取組と工夫について】

- ・就学時健診～児童がいる時に幼児と保護者が校内を見学するのは難しい。
時間や曜日を分けるなどの工夫が必要である。
- ・少しずつ交流が盛んになったのに、コロナ禍でできなくなったのでは、もったいない。
コロナ禍の中で、どういうやり方だとできるのかを検討する。
- ・行事の工夫、環境の設定をどうするか？内容を変えとできるのではないか。
交流を続けていくために、どうすればいいのか？
南区の全体で考えると、情報を集約すると、あそこではこんなことをしている、こんなことができる
と考えられるのでは。
- ・就学に向けての取組を、教育課程にどのように組み込んでいくのか。

☆どのような連携をしているか、希望するかなどを各校種にアンケートで聞き、とりまとめる中で、各園や学校で今後の参考になるのではないかと。

⇒アンケートを作成し、10月中旬に各校園の代表者から送付し、集約する方法で調査をして、
まとめていくので協力をお願いしたい。

合わせて、次年度の南区幼保小連携推進協議会の計画作成に向けた希望等があれば
ご記入願います。

4 幼保小連絡会(引継ぎの会)の開催について

■日時:令和3年1月18日(月)午後2時～4時30分

■場所:南区民センターホールにて

※新型コロナウイルス感染症の対策として、会場が変更となっています。

※詳細は10月19日付札幌市教育委員会幼児教育センターより通知がありましたので、参照
いただければと思います。

南区幼保小連携推進協議会便り

第2号 令和3年(2021年)3月1日 発行

南区幼保小連携推進協議会代表者会

2月16日(火)に、2回目の南区幼保小連携推進協議会代表者会を行いました。今年度の各園・校のコロナ禍での取組について情報を交流し、今後の幼保小連携の在り方と具体的な取組について協議しました。

1 小学校紹介第1弾…DVD『たのしいしょうがっこう』の提供

南区の小学校で作成した学校紹介のDVDをいただきました。

内容は、第1部 国語・算数・生活科の授業の様子

第2部 給食・そうじなどの生活の様子

第3部 運動会・発表会などの行事の取組について

*動画を見ながら、担任の先生にコメントいただけるとより小学校が身近になるでしょう。作成された小学校に確認しましたところ**今年度、南区の幼稚園・保育園・こども園で視聴してもよいとの許可**をいただきました。パソコン再生用(mp4版)とDVDプレイヤー再生用(DVD)を作成していただき、コピーを代表者の園長先生にお渡ししています。各園で代表者の方と連絡をとり、年長さんに見せるなど、活用していただきたいと思います。詳細は、代表者又はまいわ幼笹山まで。



2 小学校紹介第2弾…学校の給食探検

本園で、養護教諭と担任とで食指導の一環で、お弁当にはどんな栄養素が入っているかの指導をしています。今年度は小学校を体験する機会も少ないことから、学校給食の写真の提供をいただき、給食にも栄養素が入っていることを確認したいと代表者会で話題にしたところ、藻岩小学校さんが写真の提供をしてくれることになりました。**1週間分の給食の写真を提供**いただけるとのことで、データが届きましたらメールにて代表者を通して、各園にもお届けさせていただきます。特に、年長児が給食を楽しみにできるようにご活用ください。



3 次年度の幼保小連携推進協議会の予定

年間2回の協議会と幼保小連絡会を予定しています。詳細は、添付の計画を参照ください。

○第1回～地区センターなどに集まり、**新1年生の様子などについて交流**する。

Zoomでの参加もできる予定。

○第2回～講演会「**コロナ禍での幼保小連携について**」

講師 藤女子大学教授 大室道夫氏

※ご講演を元に話し合うことも検討中

◆**幼保小連絡会**(幼保から小学校への引継ぎの会)

日程 令和4年1月17日(月) 電話での引継ぎを予定



札幌市の小学校給食

牛乳が毎日付き、週5日間の主食は、米飯3回、麺1回、パン1回が基本です。米飯の日は、白飯、丼物、チャーハンやわかめご飯などの混ぜ込み系となります。藻岩小学校の献立例を紹介します。



白飯

この日は、みんな大好きなカレーライスとフルーツミックス。白飯におでん、佃煮の和食メニューも美味しいです。



麺

バターコーンラーメン、ごまポテト、いよかん。麺の日には、うどん、スパゲティ、冷麦（夏）なども出ます。



パン

コッパパン、クリームシチュー、厚揚げサラダ、デコボン。パンの日は、角食、ハンバーガー、揚げパンなどが出ます。



どんぶり

豚ミックス丼、豆腐とわかめの味噌汁、キャロットゼリー。かき揚げ丼、カツ丼、そぼろご飯なども人気があります。



混ぜ込み

鮭ちらし寿司、豆腐とわかめのすまし汁、白花豆コロッケ。ビビンバやわかめご飯、焼き豚チャーハンが大人気です。



栄養教諭がバランスよく考えた献立を調理員が美味しく調理します。

年中行事に因んだ献立やバイキング給食、セレクト給食など、工夫を凝らしたメニューも子どもたちにとっても好評です。

（文責：藻岩小学校 校長 板橋雅憲）